



神奈川県 神奈川3区国政対策委員長 前県会議員

# 木佐木 ただまさ

**日本共産党** 見解を紹介します

いのちとくらし  
守る政治をご一緒に

<プロフィール>

- 神奈川大学法学部卒
- 元法律事務所職員
- よこはま健康友の会 会長
- 横浜東民商顧問
- 弓道初段 1984年生まれ

## 新型コロナ 飲食店の影響調査

日本共産党では、新型コロナウイルス対策本部を立ちあげ、全国各地で影響や要望を伺う取り組みを行っています。私も、鶴見区内の飲食店や神奈川区の学童でお話を伺ってきました。

### 消費税増税と2重苦

鶴見区内の飲食店では、どこでも共通して客足や売上が3割近く落ち込んだと語られました。「三人以上で飲むなど社内で言われているよう」「工場見学が中止になり、帰りによる人がなくなった」「ランチはまだ良いけど、夜は人がいなくなる」など深刻な影響がありました。特に、飲食店は昨年10月の消費税増税の影響もあり、泣きっ面に蜂です。

行政の融資制度などもお伝えしましたが、「この状況で借金を増やすことはできない。せめて消費税



の納付を軽くしてほしい」と語られ、貸付ではない支援の必要性を感じています。

「来月には近所の店が2軒たたむんだよ」とも話され、終息を待っていただけません。日本共産党としても、消費税減税と20兆円規模の対策予算を組むよう求めて国会や地方議会でも提案していきたいと思っています。

## 学童保育 子どもと現場の負担 一刻も早く解消を

神奈川区のある学童では朝8時から子どもたちを受け入れる体制を取っていますが、「政府、市教育委員会、市青少年局などの発信の中身が少しずつ違い対応に戸惑った」こと、「今月は何とか乗り越えて乗り越えるつもりだが、四月以降も延長となると気力が持たかわからない」と率直な思いを語っていただきました。

### 現場に責任丸投げ 困る

「初めての事態で行政も混乱しているのは分か

るが、現場に判断や責任を丸投げするような対応は負担が余りにも重い」とこんなときだからこそ、行政の丁寧な対応が必要です。

「学童に来ていない子どもたちのストレスが心配」「休業によって、親の収入が減って子どもたちにどんな影響がでるのか」など子どもたちのことを第一に考える温かさに心が震えました。

現場の負担を一刻も早く解消する手立てをとること、こんな素晴らしい学童保育を応援する日頃の取り組みも充実させていきたいと思っています。